

市立

Kasai City Hospital

加西病院だより

平成17年7月号

第5号



今号の 主な内容

山辺院長 平成17年度を迎えて.....	2ページ
河村副院長 就任にあたって.....	3ページ
栄養サポートチーム（NST）.....	4ページ
睡眠時無呼吸症候群（SAS）の検査.....	5ページ
マナー委員会活動.....	6・7ページ
職場紹介 ～中央放射線科～.....	8ページ
医院紹介 小野寺医院・おりた外科胃腸科.....	9ページ
出産後のお母様方にアロマセラピーが好評です.....	10ページ
看護の心をみんなの心に.....	11ページ
新任紹介.....	12・13ページ
人間ドック・政府管掌健診者対象にサービスアップ...14ページ	
お知らせコーナー ホスピタルフェア等.....	15ページ
外来診察医担当表.....	16ページ

『平成17年度を迎えて、 キーワードはチームワーク』

院長 山辺 裕

年度目標について

4月は新しい年度がスタートを切る月です。加西病院では年度初めに一年間の病院目標を定め、その年をかけて目標実現に取り組み、病院の機能を向上させる活動を行っています。年度の節目にあたりまして、市民と病院をつなぐ本誌に加西病院の今年の年度目標を紹介いたしたく存じます。

平成16年度を振り返って

昨年を振り返りますと年度目標は『患者安全 あらゆることをあらゆる場所で!』でした。目標の達成のために、医療安全管理委員会のもと「医療安全推進会議」を設置し、宇野医療安全管理担当者をリーダーとして院内の全ての部署から参加を受け、患者様が安心して医療を受けられる体制を目指しました。その活動は目覚ましい成果を挙げ、個別改善点は数え切れないほどです。定期的なリスクラウンドを実施し全職種に患者安全の意識を高めたこと、厚生労働省のヒヤリハット定点病院となって全国調査に参加したこと、院内安全マニュアルを練って実効あるものとしたこと、そして何より患者安全のために院内のリーダーシップをとるチームを育てたことが大きな成果でした。

平成17年度の病院目標

今年の病院目標は『チームワークで良質の医療を築こう!』としました。

“チーム医療”という言葉があります。病院医療の質を高めるキーワードの一つです。医療安全管理や、院内感染制御や、緩和医療や、褥瘡対策チームや、栄養サポートチームを指します。院内の異なる部署の職員

が共通の目的のために組織横断的にチームを組んで行う活動です。日常業務をこなした上での活動ですし、職能外の知識も必要ですので大変です。しかしチーム医療を避けては医療の質改善はありません。また加西病院はそのような取り組みに従来先進的でした。

本年の目標を“チームワーク”としたのは理由があります。病院は実に様々な専門技能をもつ職能集団の集まりです。医師、看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師、リハビリ技師、栄養士、事務職、それぞれが独自の専門教育を受けた後、現場での経験を通して一人前になる気の長い過程です。病院はこれらの専門家達が自部署で医療に当たると同時に、それらの成果が総合されて一人の患者様への医療が完成します。その総合とは単に部分の足し算ではなく、有機的に統合された全体です。チームワークが医療の質を決定する理由がここにあります。

信頼される病院、働く充実のある病院

最近、医療不信を増幅する事故があいついで報道され、医療界全体が疑いの目で見られがちです。しかし医療者は報道を真摯に受け止め安全で良質の医療を提供しようと、自らの時間を削ってでも努力を傾けています。病院が信頼され、職員が医療する誇りを持つためにはそのような私達の姿が伝わる必要があります。そのためにもチームワークの医療が大切です。

職種間や部署間のみならず職種内、部署内を含めたチームワークこそが良質な医療の本質であるといって過言ではありません。チームワークが深まるほどに病院全体の医療レベルは向上します。平成17年度はそのようなチームワークで相互に支え合う病院づくりが目標です。

副院長 就任にあたって

副院長 河村 貴

私はこの度、副院長を命じられましたが、これまで、私はほとんど外科の臨床だけで生きてまいりましたのでこの度の突然の管理職就任にはかなり戸惑い、迷いました。しかし、内藤先生の突然の不幸の後、内藤先生が大切にしていたこの病院を去るわけにもいかず、私には不向きだとは思いつつも、結局、副院長職を受けることを決心しました。その当時は大学の医局から、春には外科を元の5人に戻してくれるという約束？がありましたのでなんとか院長の足を引っ張らないように頑張ろうとの思いでした。しかし、実際には最近の外科医の減少に加え、研修医制度の発足による医師不足と重なり、外科医は4人のままということになり、山辺院長、山谷診療部長を始め、多くの方々に迷惑をかけているという状態です。ただ、大学からは新たに生田先生というベテランが来てくれましたので、ここでの仕事に慣れてくれば、私にも少し余裕ができるのではと思っております。今後は、この病院の発展のために、少しでも院長の力になれるよう努力し、この病院が少しでもより良い方向に向かうよう頑張りたいと思っています。さて、最近では医療を取り巻く環境が急速に変化してきていますが、理想の病院とはどうあるべきものなのでしょうか。これまで、日本の医療は社会主義経済に基づいて行われてきているにもかかわらず、国民から見ると、どうも自由経済と映らなく、また、医療を受ける側の意識はアメリカ以上になってきています。確かにアメリカでは外来の待ち時間も短く、充実した施設で看護にもゆとりがあるようなシステムに見えます。しかし、裏返して見れば、医師が一人に30分かけるとすると一日にせいぜい10～15人程度しか診ないということなのです。また、アメリカでは入院費用の内、部屋代がどんな田舎でも安いところで一日約5万円かかり、ニューヨークでは15～30万円かかると

のことです。（実際、14年前、アメリカのウィスコンシン州で家内が入院した時、約5万円でした。）実際の医療費ですが、2000年の保険会社の調査では一日入院の虫垂炎手術の総費用はニューヨーク 243万円、ロサンゼルス 194万円、サンフランシスコ 193万円、ボストン 169万円であり、ちなみにロンドンが5日入院で114万円と出ていました。では治療のレベルはどうかですが、私は他科のことは分かりませんが、消化器外科に限って言えば、日本のレベルは世界のトップレベルにあると言えます。つまり、日本では合併症が少なく、高度な医療を非常に安く、すばやく受けられ、また、アポイントメントがなくてもどのような病院へも行けるといって、患者さんにとっては、世界的に見て夢のような国なのです。ただ、だからといって、今のままでいいといっているわけではなく、まだまだ改善すべき点が多々あると思いますので、これからも努力が必要であることは言うまでもありません。では、なぜ、日本では長期入院で高度な医療が短い入院期間のアメリカと比べて安く提供出来ているのでしょうか。もうお分かりでしょうが、材料費、薬剤費はむしろアメリカの方が安い傾向にありますから、残るは、技術料なのです。つまり、医療従事者が頑張って維持しているということなのです。これは外科だけかも知れませんが、日本では医師の収入はアメリカの約1/5～1/10の収入と言われております。（内科の方は良く分かりませんが、内科と外科の平均収入は約1：3と言われております。）このように訴訟がアメリカ並みに増加して来た状況下で年休どころか土日も休めないような外科医にはなりたくないということなのか、外科学会もどんどん減って来ている様です。さらに、医師の人事にも変化が現れて来ており、厚生省を始め旧国立病院や県立病院は大学の人事による支配から離脱しようとしてきており、

国立病院機構では良い医師を集めるために、幹部においては年俸制とし、必要性、評価によって、約1.5倍までの差をつけるとした、と聞きました。このことは今後に影響を与える出来事かも知れません。

話を元に戻しますが、他国の話はさて置き、今の日本の現状において、より良い病院になるにはどうすればいいのでしょうか。もちろん、良い人材を確保することは大事なことです。個人的には、各々が自分の仕事に誇りと責任を持って従事すれば自ずと病院全体が立派なものになる、と考えています。しかし、自尊

心のみが強く、独りよがりとなれば周囲との連携が保てず、また、患者さんとの間にも信頼関係は築けないと思います。私も周囲の人の意見をよく聞き、尊重するということが心がけ、努力していく所存ですので、より良い病院になるよう、皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。今後も、高度で、安く、万人が平等に治療を受けられる日本の医療を維持すべく、医療従事者だけでなく患者さんにも理解して戴き、共に頑張っていこうではありませんか。

栄養サポートチーム(NST)立ち上げに向けて

看護部 東4病棟課長 楠田 藤枝

医療の現場では、ここ数年チームで行なうチーム医療が脚光を浴びています。

当院においても病院長より出された今年の目標は、「チームワークで良質の医療をめざそう!」となっています。この目標の中の一つにはNST(栄養サポートチーム)で行なうチーム医療が含まれています。

NSTとは、チームで行なう患者様への栄養面のサポートであり、医師・薬剤師・栄養士・調理師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士・言語療法士・看護師・事務職員等が、チームを構成し活動しています。

1970年にアメリカでNSTが発足し、1980年代にはNST導入による、医療の質の向上と経済面での成果が数多く報告されました。

日本における最初のNSTは、1998年に鈴鹿中央総合病院において東口医師がPPM方式を用いて立ち上げられ、入院日数の短縮、感染の減少、栄養サービスによる患者満足度の向上等の成果を上げられました。

加西病院でも昨年の12月よりNSTを立ち上げるため、院長直属のチームを編成し毎月1回会議を開き来年4月の発足に向け努力しています。

第1回会議では、院長より当院NSTの活動目標として、感染、廃用性萎縮、褥瘡、転倒転落といった合併症を持った高齢や身体機能障害のある患者様に対し、少しでも全身状態の改善をもたらすよう、また歩いて入院した患者様は歩いて退院できるように、栄養補給の面からサポートすることにある。というお話があり、当院の方向性が明らかになりました。

第2回会議では、「栄養アセスメントについて」検査科井上さんよりの勉強会を行い、「NSTの活動理念」を作成発表しメンバーに対し意識の統一を図りました。

第3回会議では、栄養課川嶋課長より「栄養アセスメントの実施」「身体計測の手技」等についての勉強会。

第4回会議では、ST横山先生による、「摂食・嚥下リハビリテーション」の勉強会。

第5回会議では、「経腸栄養剤の種類と特徴、使用上の留意点について」の勉強会と6病棟の症例報告、検討を行ないました。

第6回会議では、「経腸栄養の投与経路、PEG合併症と対策」の勉強会と5病棟より症例報告、検討を行なった後、病棟を訪問し直接患者様の回診を行ないました。

今後、各病棟よりの症例の検討を行い、病棟回診を実施する予定です。

まだまだシートの作成や、全職員対象の勉強会、スタッフの役割分担の明確化、等々、多くの課題を抱えています。しかし、NSTが稼動することで、一人でも多くの患者様の入院期間が短縮され、一人でも多くの患者様の感染が無くなり、患者様が栄養面での満足感を得て退院されるようにかかわって行きたいと考えています。

毎月第3水曜日午後16時より講義室にて勉強会及び会議を行っています。もし時間があれば、どなたでも会議に参加してください。NSTスタッフ一同お待ちしております。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)の検査をはじめました

—SASとは?—

中央検査科 田路 彰子

一晩7時間の睡眠中に無呼吸(10秒以上の呼吸気流の停止)が30回以上、もしくは睡眠1時間に平均5回以上認められる場合を睡眠時無呼吸症候群(SAS)と定義します。

数年前、新幹線の運転士が、居眠り運転のため停車駅でのオーバーラン事故を起こし、この居眠りの原因が、運転士がSASに罹患していたためと判明し、話題となりました。

SASには発生原因から、2種類に分けることができます。1つは、肥満による上気道への脂肪沈着、扁桃肥大などの形態的異常、または上気道筋群の活動性の低下などによる機能的異常のため、睡眠中の上気道の閉塞によって、鼻、口での呼吸がなく無呼吸になる閉塞型睡眠時無呼吸症候群(OSAS)です。このタイプには、肥満体の人、首が短くて太い人、顎が小さい人などに多いことが知られています。もう1つは、中枢神経系の疾患により呼吸制御系の障害や、呼吸中枢の機能異常により無呼吸になる中枢型睡眠時無呼吸症候群(CSAS)があります。脳疾患患者や心不全患者などにみられることがありますが、兆候が曖昧なため、症状を訴えることが稀とされています。

SASの症状としては、いびきや不眠、夜間睡眠中に目が覚める、起床時の頭痛、日中の眠気などがあります。また、高血圧や不整脈、脳卒中、虚血性心疾患などの合併症や、日中の活動や思考の低下、居眠り運転による交通事故などを引き起こしやすく、適切な検査とそれぞれの患者さまに応じた治療が必要です。

【SASの検査について】

確定診断には、一晩入院をして、睡眠に関連するさまざまな項目(脳波、心電図、胸部・腹部の動き、鼻からの空気の流れ、血液中の酸素量など)を同時に測定し、睡眠状態をトータルに評価する終夜のポリソムノグラフィー(PSG)が必要です。しかし、検査体制や設備などの制約により、全例にPSGを施行するのは困難なため、スクリーニングもしくは簡易検査を

行い、その結果必要であればPSGを施行します。当院でもSAS簡易検査装置(モルフェウス)が導入され、SASの検査が可能となりました。この検査は、気流センサー(鼻に取り付ける)、呼吸検出バンド(胸と腹にバンドを巻く)、血液中の酸素濃度検出センサー(指先にテープで貼り付ける)を体につけて、いつものように眠るだけの簡単な検査です。

【検査でわかること】

無呼吸の回数や時間、どのようなタイプか、血液中の酸素の低下があるか、またそれらからSASの重症度がわかります。

無呼吸指数 AI・・・睡眠1時間あたりの無呼吸の回数。

無呼吸低呼吸指数 AHI・・・睡眠1時間あたりの無呼吸と低呼吸(気流が半分以下で酸素飽和度の4%以上の低下を伴う)の合計の回数。

【OSAS(閉塞型睡眠時無呼吸症候群)の治療】

軽症の場合は、生活習慣(減量、禁煙、飲酒や精神安定剤の服用の制限、睡眠中の体位の工夫)を変えるだけで睡眠時の無呼吸が軽減、あるいは無くなってしまふこともあります。中等症～重症の場合は、経鼻的持続陽圧呼吸療法装置(CPAP療法)が第一選択とされています。他、手術による治療や歯科装具による治療、薬剤による治療などがあります。

CPAP療法・・・装置本体からエアチューブ、鼻マスクを介して、気道閉塞の程度に応じた空気圧(陽圧)を気道へ送り、軟口蓋や舌を押し上げて気道の閉塞を防ぎます。

副作用はほとんどありませんが、マスクによる皮膚のかぶれ、鼻や口の渇きなどがあります。

いずれの治療法を選択しても、自分で治療効果を判断することは危険です。また、睡眠時無呼吸症候群の重症度は、体重の増減や加齢によって変化するため、定期的に主治医の診察を受けることが大切です。

マナー委員会活動

—日々の地道な活動が風土を変える!—

看護部マナー委員会 顧問 北村 和恵

「私たち看護部では、平成9年度よりマナー委員会を設立し、日々の接遇に対する意識付けを実施してきました。しかしながら、「接遇改善」は、その組織の「体質」を改善しながら新しい「組織文化」を創り出す取り組みです。言い換えれば、文化度の高い職場づくりにほかなりません。長年の間に蓄積された組織の体質や風土、つまり職員全体の意識を変えるのは大変なことです。そこで病院全職員の体質改善が不可欠であると強く感じ、他職種を巻き込んだ活動を始めました。

平成13年度に院内の委員会 診療部会が発足し、様々な側面から患者様中心医療を深める取り組みを検討し、全職員対象の接遇研修会も実施しています。

活動内容としては、月間目標を設定し、ポスターの作成配布及び毎朝、勤務者で目標の唱和を行いました。

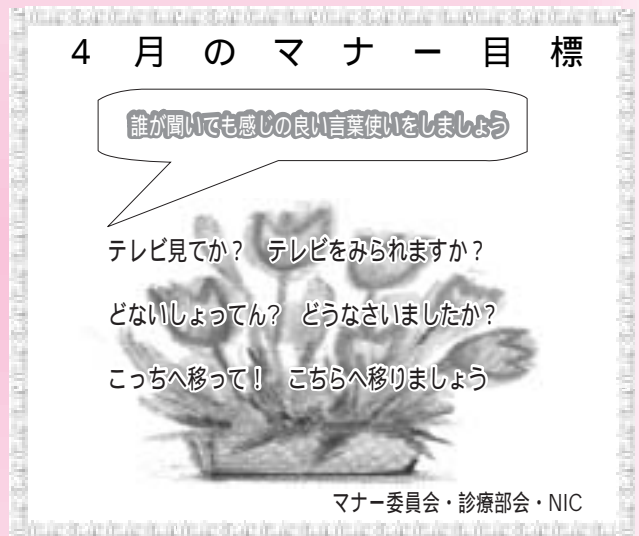
また昨年7月よりできるだけ多くの患者様のご意見をお聞きし、改善対策を講じていきたいと考え、年一回実施していた入院患者様アンケートを継続アンケー

トに切り替え、入院患者様すべてに退院時に記載していただく方法にしました。アンケート内容はごく簡単なものですが、さまざまなご意見を頂いております。また、このアンケート結果は現状を共通認識する目的で、院内掲示板において全職員に知らせています。

さらに、チャームカルテと称するチェック表で職員の自己評価を行っています。このような活動のなかで、ようやく職員ひとりひとりの意識が確実に変化してきたと感じています。そして大きく動き始めようとしています。

医療従事者は、人の生命や身体に直接深く関る仕事に携わっており、患者様や家族様との信頼関係は欠かせないものです。“患者様ひとりひとりを大切に思う心”を形で伝える。つまり「接遇」は、患者様との信頼関係を築く出発点だと思います。

今後とも、市民の皆様の信頼を深め、満足していただける医療環境の改善に努力してまいります。

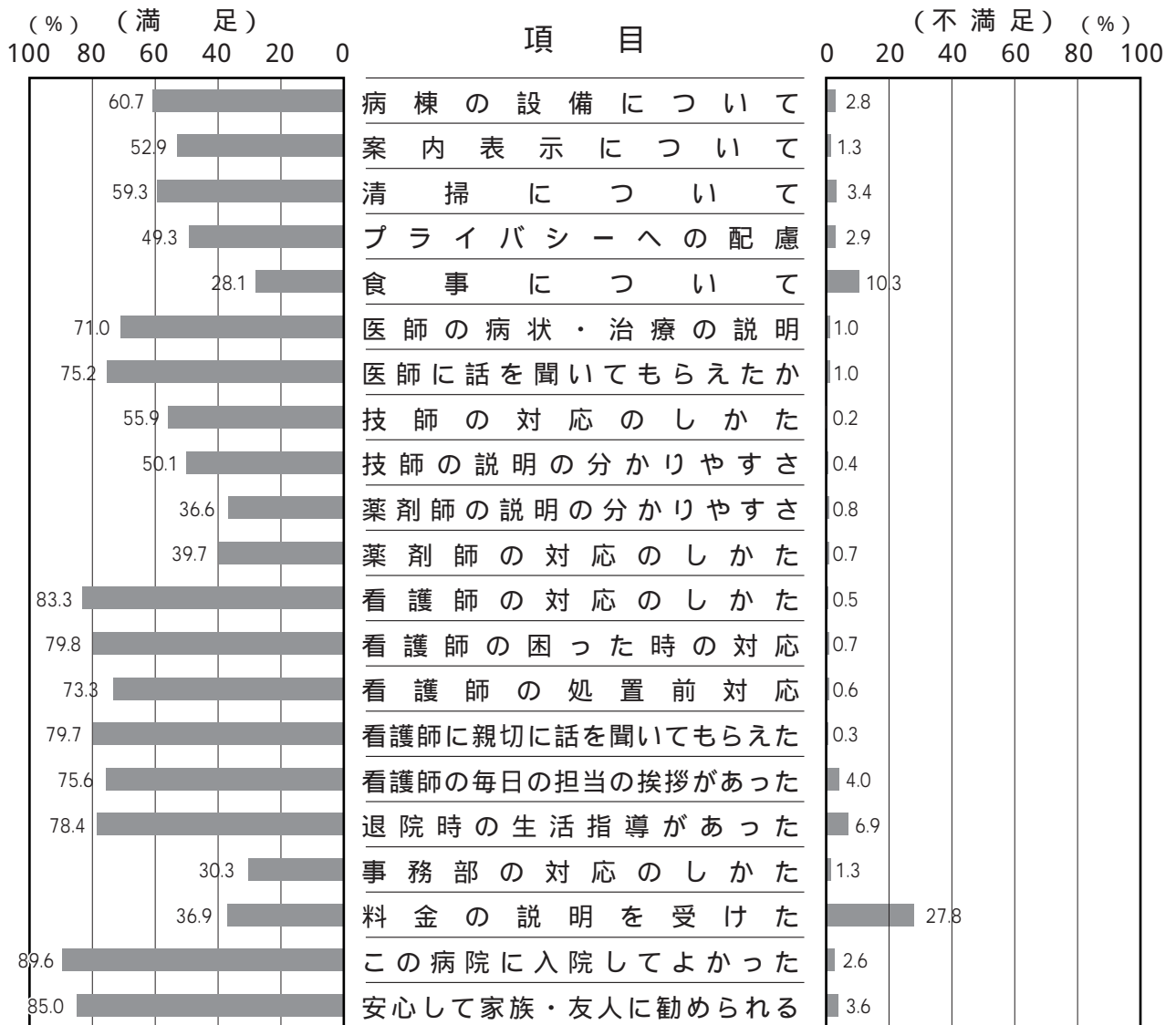


入院患者様接遇アンケート 個別項目の満足度

集計期間 H16.7.1 ~ H17.5.31

アンケート回収率 17.5%

配布枚数 5,031枚 回収枚数 882枚



%の分母には回答欄に無記入のアンケートを含まない 満足(はい)+普通(時々)+悪い(いいえ、ない)

職場紹介

～中央放射線科～

中央放射線科は放射線（エックス線、ガンマ線）や磁気を利用した装置を駆使して、身体情報を画像として取り出す医療でも最先端の分野を担っている部署です。

その業務は一般撮影、CT、MRI検査等、診療放射線技師が主に行うものから、RI、エックス線TV、血管造影検査等、医師、看護師などとチームワークを組んで検査するものなど多岐にわたっています。場所は中央館2階の北エリア（受付、一般撮影室、血管造影室、RI室、泌尿器撮影室）と新築の西館2階エリア（CT、MR、X線TV、内視鏡検査）です。

それでは、簡単に各検査を紹介していきます。

一般撮影検査は胸部、腰椎、骨関節などの写真を撮影します。皆さんも一度は撮影されたことがあると思います。この一般撮影もフィルム現像方式からデジタル画像方式（CR）となり、撮影画像データはサーバーという画像記録装置



に保管され、いつでも呼び出して確認・処理出来るようになりました。

CT検査（コンピューター断層撮影装置）は身体の横断面を撮像しますが平成15年の西館オープンとともに、最新鋭の4列マルチスライスCTが導入され、より短時間にきれいな画像が撮れるようになり、特に肝臓疾患の早期発見、鑑別が可能となりました。



また同時にMRI装置（磁気共鳴画像撮影装置）が更新されました。この装置は磁気と電波で水分の多い軟らかい組織の変化を鋭敏にとらえ、どんな断面でも撮像出来るので、特に脳や脊髄神経、関節軟骨の撮像に適していて、脳梗塞の早期発見、頭部疾患、腰椎椎間板ヘルニア等の鑑別診断に大きく寄与しています。

この両装置の最新化で最良の画像情報を、より短時間に提供できるようになり、加西市医師会並びに近隣病院からの依頼も増え、CT、MR件数は飛躍的に伸びています。

この他にも、心臓の筋肉や骨に選択的に注入放射線医薬品を注射してから、その分布状態を撮像して、心筋機能や身体全体の炎症などをみるRI検査（ラジオアイソトープ撮影装置）や、造影剤を使用して心臓を栄養している冠動脈の閉塞確認やPCI（冠動脈インターベンション）と呼ばれる冠動脈拡張術、腹部の血管撮影などをする血管造影撮影検査室があります。

また胃のバリウム検査や腸カメラ（コロソファイバー）など、臓器の動きを見ながら検査するX線テレビ検査室などがあります。これらの装置で得られた画像データは記録保管装置（画像サーバー）で管理され、迅速で的確な診断に使われています。

このように中央放射線科には多くの装置があり、診療放射線技師10名、受付係2名、看護師6名、看護助手1名、放射線科専門医師2名、そして検査担当各科医師の多くのスタッフが協力して、やさしい笑顔で日々の検査を施行しています。

なお、今年もホスピタルフェアが開催されます。そのとき、ぜひ当中央放射線科もご見学下さい。我々、診療放射線技師が御案内しますので最新医療装置と画像を貴方の目でご確認下さい。

わが町、かかりつけ医

「小野寺医院」 ご紹介



小野寺 芳伸 先生

近隣の施設においても多くの患者さまのかかりつけ医として活躍されています。

昭和60年1月18日、加西市王子町に開院し、今年で20年目を迎える小野寺医院。内科、循環器科を専門とし、現・小野寺芳伸先生は代々続く小野寺医院の9代目にあたられます。市立加西病院に3年間勤務された後、のどかな田園風景の広がる王子町に小野寺医院を開院され、かかりつけ医として地域に密着し、地域のニーズに応えるべく診療されています。

また、校医・嘱託医として、保育所、中学校、善防園、希望の里など、

〒675-2231
加西市王子町77-3
TEL 0790-48-3737
FAX 0790-48-3693



「おりた外科胃腸科」 ご紹介



織田 耕三 先生

ありがたい事ですね。にこやかな笑顔で、やわらかな物腰が、患者さんからの人気の秘訣の様に感じました。

入院設備をはじめ、X線、リハビリ、内視鏡などの設備も完備し、内科、整形外科、肛門科、胃腸科など多岐にわたり診察されています。

加西市古坂6丁目にある、市内で唯一の外科医院、おりた外科胃腸科を訪ねました。自動ドアが開き、一歩進むと、広い待合と明るい雰囲気のオープンカウンターがあり大変広く感じました。開業から11年、患者様は、市内を初めとし、市外遠くからも来られているそうです。

診察は、多田先生と2人でされています。土日も診察されています。送迎の必要な、また御高齢の患者様や平日来れない患者様には、本当に

〒675-2312
加西市北条町古坂6-17
TEL 0790-42-6000
FAX 0790-42-6001



出産後のお母様方にアロマセラピーが好評です

東3病棟

東3病棟では平成17年4月より産後のお母様方にケアの一つとして肩・手・足・足浴等のアロママッサージを取りいれています。

私達は出産・母乳育児で疲れているお母様方に環境を整え、心身を癒すのも大切な看護ケアのひとつだと思っています。産後のアロマセラピーは緊張をほぐして出産の疲れを癒し、免疫系に働きかけ心身のバランスを図ると共に、アロマセラピーをとおしてコミュニケーションを深める機会ともなり、看護者とお母様方の間の潤滑油としての役割も果たしています。

足浴は「全身が温まり、気持ちよかった。産後は自分が思っているより疲れているので香りでリラックスでき、精神的にも安らげると感じた。」と好評です。産後のトリートメントは、エッセンシャルオイルの有効成分を血液の流れにのせるようにやさしくマッサージして痛みやコリをほぐしていきます。スキンシップにより、安心感、信頼感が深まります。患者様が望ま

れていることは、ゆっくりと話を聞いて欲しいことだとも思います。

アロママッサージは、行っている医療者もその香りを楽しみながら患者様の身体をマッサージしながら、リラックス感、満足感も得ます。慣れない授乳に対しても「肩のコリも楽になった。オイルを使うとぽかぽかして不思議、子育てでイライラした時にも良いと思う。」という言葉も聞かれます。

しかし、すべての人が「香り」が好きとは言えません。まず、その人がどの「香り」が好きか尋ねることにしています。当科では主にラベンダー、スイートオレンジ、ゼラニウムなどを使いますが、若いママ達にはスイートオレンジが好評です。

アロマセラピーという行為を通して他科の患者様にも疼痛の軽減や不眠等精神ケアにも繋げていけるように努めたいと思っています。



看護の心をみんなの心に

看護部 奥隅 京子

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、5月12日が「看護の日」と制定されています。そして、この12日を含む週が「看護週間」です。看護の心、ケアの心、助け合いの心を私たち一人ひとりがわかちあい、その心を育むことを趣旨としてこの日が制定されました。メインテーマは「看護の心をみんなの心に！」です。気軽に看護に触れていただけ楽しい行事が全国で行われます。

加西病院においても平成4年より、様々なイベントを実施してまいりました。

14回目を迎えた今年の「看護の日」のイベントは5月14日に行いました。「ふれあい看護体験」「ふれあい広場」「ふれあいコンサート」などを開催いたしました。

「ふれあい看護体験」では、市内の中学生ら23人の参加がありました。中学生は白衣とナースキャップを身につけ、看護師と共に患者様の血圧を測定したり、体を拭いたり、車椅子やベッドで屋外への散歩につきそい気分転換のお手伝いをするなどの看護実習に取り組みました。こういった患者様との交流を通して看護することや人の命について理解や関心を深めていただ

くことができました。参加された中学生からは「人の役にたつ事がしたいという気持ちが強くなりました。」「生まれて2日目の赤ちゃんを抱っこしたり、触れてみることで命の尊さを知りました。」などの感想が寄せられています。この体験を機に看護の道へ進まれる方もあります。

「ふれあい広場」では、健康相談や体脂肪測定、血圧測定、アロマ体験、看護師への道の紹介など広く看護の心に触れていただけるようなコーナーを設置いたしました。

「ふれあいコンサート」は、毎年市内の中学生の吹奏学部のご協力をいただきます。今年は加西中学校吹奏楽部と院内コーラスグループ「きらり」によるコンサートでした。中学生のみなさんがこの日に向けて一生懸命に練習を重ね心をひとつにして演奏してくださいました。歌声や演奏が入院中の患者様やご家族の方をはじめとする参加者の心に響きました。参加された方からは「癒された」「感動した」「元気をもらった」などの声がありました。


「看護の日」のイベントに参加された方々から御好評をいただいたことや、加西病院の看護の心を皆様にご存知いただく機会となったことを嬉しく思っております。



新任者 いんたびゅー

出身地 趣味・特技 自己PR 好きな言葉、信念、モットーがあれば


外科
生田 肇
 兵庫県加東郡社町
 育ちは姫路
 最近では娘の部活動の試合を見に行き、ビデオで撮影すること。特技は方向感覚。
 すぐに落ち込むけど、何かに転化し、案外早く立ち直る。
 つらいときこそ人にやさしく、と思ってますけど。なかなか難しい。




神経内科
石原 広之
 高砂市
 タイガースの応援
 市立加西病院を北播東播地域の神経内科の拠点病院とできるよう頑張ります。
 克己
 (こっき:自分に勝つ)




精神科
玉岡 徹
 兵庫県三木市
 ドライブ、年に何度か、車で東京や広島まで出かけます。
 シンプルで分かりやすい診療をモットーに「医療のための医療」にならぬ様、肝に銘じています。未熟なところも多いですが、何卒よろしく願います。
 患者様の健康な部分を最大限に尊重すること。医者が「病気を仕立てあげない」ことが大切だと考えています。




整形外科
須田 誠
 神奈川
 6月より勤めさせて頂いています。よろしくお願いします。




臨床研修医
池村 志麻乃
 兵庫県神戸市
 テニス
 よろしく願います。



臨床研修医
宮原 俊介
 兵庫県
 ドライブ(?)
 新たな気持ちで頑張ってます。




臨床研修医
坂田 周平
 兵庫県加古川市
 バasketボール
 明るくいつも笑顔でいれるよう頑張りますので、よろしくお願いします。




臨床研修医
森島 史織
 大阪
 本を読むこと おいしいものを食べること
 よろしく願います。




臨床研修医
金田 直樹
 兵庫県
 野球
 がむしゃらにがんばります。宜しくお願いします。




臨床研修医
道上 佳洋
 神戸市
 サッカー
 よろしく願います。



臨床研修医
高田 幹子
 広島県福山
 スープ作り
 小柄ですが笑顔で頑張りますので、よろしく願います。



看護師

衣笠 真理子

姫路市
スポーツ

まだまだ慣れないことばかりですが、頑張りますので、よろしくお願いします。

笑顔を忘れないようにしたいです。



看護師

木村 衣里

高砂市
買い物と音楽鑑賞

何事にも一生懸命取り組みむところが長所だと思います。よろしくお願いします。

「いつも明るく」をモットーにして仕事をしています。



看護師

木村 史秀

加古川市
車を購入したのでドライブをする予定です。

分からないことばかりで戸惑う毎日ですが、いつも笑顔を忘れず頑張りたいと思います。

マイペース、いつも優しく、笑顔で。



看護師

黒川 みつみ

神崎郡香寺町
買い物

早く先輩方のような看護師になれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



看護師

小屋 美幸

加古川市
スノーボード

分からないことが多くて、不安でいっぱいですが明るく元気に頑張りたいと思います。

常に前向きにプラス思考で頑張ります。



看護師

高井 香奈

加西市
テニス

頑張りますのでよろしくお願いします。



看護師

寺口 麻衣子

兵庫県
スノボ、ドライブ、旅行など 特技は...

まずは小児を極めたいと思います。みなさんよろしくお願いします。

「天才は有限、努力は無限」



看護師

藤後 栄一

神崎郡神崎町
ボード

よろしくお願いします。一攫千金



看護師

中村 千絵

神崎郡神崎町
友達とご飯を食べに行くこと。

まだまだ慣れないことも多くご迷惑をかけると思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



看護師

萩原 真也

姫路市
バス釣り、野球

寂しがり屋です。どんどんいじってやってください。

愛



看護師

藤島 由佳

兵庫県姫路市
アウトドア

まだまだ未熟で皆様に迷惑をおかけしている私ですが、日々学び頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

納得いくまで、最後までやり遂げる。



看護師

振角 恵子

飾磨郡夢前町
体を動かすこと(アウトドア)・スポーツ

明るく穏和な雰囲気があるので周りの人を和やかに出来るところです。

「努力に勝る天才なし」の言葉が好きです。



看護師

森井 貴子

加西市
書道、文書を書いたりすること

東3病棟で働いて約3ヶ月たちました。これからも他者を思いやる気持ちと笑顔で何事にも取り組みたいです。

自分も人も大切にします。



人間ドック・政府管掌健診者対象にサービスアップ オプション検査導入と二次検査実施

地域医療室

地域医療室では、年間約800名の方の健診を引き受けていますが、利用される方々の利便性を考え、ご希望によりオプションの検査が健診と同じ日に受けられます。また、健診後に更に詳しい検査の必要性が生じた場合にも二次検査を実施していますのでご利用下さい。

オプション 検査項目及び料金

頭部 MRI + MRA	25,200円	肺機能検査	3,150円
心臓エコー + BNP	10,500円	子宮体癌検査	4,200円
胸部CT	13,650円		(税込み)

検査の内容

頭部MRI + MRA

* 頭部MRIは、頭部を任意断層に撮影し、無症状のうちに発症した脳腫瘍・脳梗塞・脳内出血等の有無を検査します。頭部MRA (MRIを用いた血管撮影)は、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤や脳動脈硬化(脳動脈の狭窄・閉塞・拡張・蛇行・延長)の程度がわかります。

心エコー + BNP

* 心エコーは、超音波を使って心臓の大きさ・動き・血液の流れをみる検査です。心臓の肥大・拡張・弁障害の有無や先天性心疾患・心筋梗塞それに伴う合併症の有無がわかります。BNPは、心臓の主に心室から分泌されるホルモンです。その血中濃度を測定することで心臓病の早期発見が可能になります。

胸部CT

* 胸部CT検査は、肺がん・肺結核・気管支拡張症・気胸・胸部大動脈瘤・肺動静脈瘻などの病変が、小さなものまで発見できます。特に腫瘍性病変などは、心臓の裏側の部分・腹部に近い横隔膜の裏側・その他の臓器などに重なり合わずに見えます。がんの早期発見に効果的な検査です。

肺機能検査

* 肺機能検査は思いきり息を吹き込んだ時の肺活量や一秒でどれだけ息を吐き出せるかの一秒率などを調べます。肺気腫や気管支喘息・気管支拡張症などの呼吸器の病気がわかります。タバコを吸う方にとっては早期の機能障害が診断できます。

子宮体がん

* 子宮体がんの検診は、子宮内膜の細胞を採取して検査を行います。(妊娠中の可能性のある方は検査を行うことが出来ません) 子宮体がんは最近増加傾向にあります。子宮頸がん検診と併せて受けられることを是非お勧めします。

《お申し込み方法》

オプション検査は、事前予約が必要になりますので、直接地域医療室窓口又は、お電話でお申し込みください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

市立加西病院 地域医療室 電話 0790(42)2200 (内線 2382)

第2回 ホスピタルフェア開催のお知らせ

～守ろう!健康はあなた自身で!私達がサポートします～

昨年に引き続き、今年も皆様とふれあいの場を持ち、健康のお手伝いをさせていただきたいと思っております。是非、家族・友人・知人お誘いあわせの上、来院して下さるようお願い致します。

- 日 時：平成17年10月22日（土） 9:00～13:00
 場 所：市立加西病院 薬局前・リハビリテーション室・その他
 内 容：1部 院内研究発表会（9:00～10:00）
 2部 公開広場（10:00～13:00）
 健康の目安になる！BP測定・動脈硬化度測定・体脂肪測定・血糖測定
 気軽に相談できる！院長の何でも相談コーナー
 癒される！アロマセラピー
 1人でも命が助かる！・・・誰でも使えるようになろう！
 AED（自動体外式除細動器）・心肺蘇生実践コーナー
 良いものが安い！バザーコーナー
 スタンプラリーで豪華？景品ゲット！！
 その他：健康に役立つ企画がいっぱいあります!!有意義な時間を過しませんか?!

脚光を浴びつつある

腹臥位(うつ伏せ)療法教室のお知らせ

腹臥位(うつ伏せ)は寝たきりを予防し、また合併症(拘縮・便秘・肺炎・無関心など)の予防や改善に効果があります。

下記の日程で教室を開きたいと思っておりますので、興味のある方は是非ご参加ください。

- 日 時：平成17年11月10日（木曜日） 13:00～15:00
 会 場：市立加西病院 南会議室 兵庫県加西市北条町横尾1の13
 内 容：1 腹臥位療法とは
 2 腹臥位療法の効果と注意点（パワーポイントとビデオ使用）
 3 実践（完全腹臥位・半腹臥位・車椅子使用腹臥位）・・・運動のできる服装
 対 象：職種は問わない（一般の方も可）
 定 員：先着20名様 参加費：無料
 *申し込みは電話でお願いします。 TEL:0790-42-2200(内線428)担当:谷口

【市立加西病院 受付時間】

新来院の方（午前8時30分～午前11時30分）

- ・初めて加西病院を受診される方
- ・今回受診される診療科が初めての方
- ・診察券（IDカード）をお持ちでない方

受付窓口へ
お越しください

再来院の方（午前7時30分～午前11時30分）

- ・IDカードにより再来受診機で受付を行ってください。
- 月に一度は保険証の確認をいたしております。中央受付にご提出ください。
- 医師の都合により変更がありますので、案内板をご確認ください。

外来診察医担当表

平成17年 8月 1日現在

		診察室	月	火	水	木	金	
内科	総合外来	初診	8	山谷	山辺	北嶋	森	城谷
		初再診	7	河合	秦	川森	安積	高島
		再診	6			上田/永久(交代)		
	専門外来	予約診	6	高島(消化器)	山谷(消化器・代謝)		山谷(糖尿病)	河合(心臓病・心不全)
			5	森(心臓病・冠疾患)	北崎(心臓病・不整脈)	井関(心臓病)	北嶋(消化器・肝臓)	山辺(初診後説明)
			26	城谷(肺疾患)			城谷/奏(肺疾患)	
		午後 処置室		北崎(心臓ペースM)				
地域医療室	人間ドック (11:00~12:00)	30	山辺	城谷	山辺	山辺	山谷	
神経内科		35	石原(初再診)	休診	石原(初再診)	奥田(予約診)	休診	
外科		18	河村		河村	河村		
		20	岩谷	交代で診察	生田	藤田	交代で診察	
		午後	河村(肝胆膵)			河村(肝胆膵)		
整形外科	初診	21	山田	交代で診察	箱木	山田	中島	
	再診	22	箱木		山田(予約診)	箱木	山田	
		23	中島		須田	中島	人羅	
耳鼻咽喉科		1	奥窪	奥窪	奥窪	神大	奥窪	
		午後			(学童外来)	(手術日)		
精神科	(心理士)	3	玉岡	水谷	水谷	水谷	玉岡	
		3	荒川	玉岡	玉岡	荒川	荒川	
産婦人科		15	西島	喜吉	西島	喜吉	西島	
		午後		喜吉(予約診)	西島/喜吉(更年期)		西島/喜吉(産後検診)	
小児科		10	平井	酒井	平井	酒井	平井	
		午後	(慢性疾患・夜尿症) (アレルギー) 酒井	(アレルギー) (低身長) 平井	(心エコー) 平井・酒井	(予防接種) 平井・酒井	(乳児検診) (アレルギー)(低身長) 平井	
眼科		25	渡部	遠藤	遠藤	遠藤	遠藤	
				渡部	神大	渡部		
泌尿器科		12	奥田	小林	奥田	小林	奥田	
		午後	奥田/小林(予約診)					
皮膚科		2	今村	今村	小野	小野	今村	
			小野		今村		小野	
		午後		今村(美容外来) 第4火曜	今村/小野(予約診)		今村/小野(予約診)	
放射線科		27	竹中		竹中		竹中	
			寺嶋		寺嶋		寺嶋	
麻酔科		16	林			林		
			石島			石島		

整形外科 22診(月・木・金曜日)・神経内科(月・木曜日)は予約の患者さまも含まれます。